

ずいひつ ①

Z U I H I T U



香川県内の水道事業広域化

高松市上下水道事業管理者
石垣 佳邦

日ごろ、日本水道鋼管協会の皆様には、市民生活や社会経済活動に不可欠なライフラインである上下水道事業の円滑な運営に御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

高松市の水道事業は、大正10年9月に日本で40番目の近代水道として、始まり本年で96年目を迎えました。給水開始以降、給水人口の増加に伴う水需要に対応するため、8次に及ぶ拡張事業を経て、現在に至っています。

平成23年4月の水道部門と下水道部門との組織統合に際しては、統合のメリットを生かし、将来にわたり、健全で持続可能な企業経営を目指すため、上下水道事業の目指すべき姿や経営理念、基本方針、基本施策等を一体的に取りまとめた高松市上下水道ビジョンを策

定しました。28年3月にはこの計画を見直し「安心して、いつでも、いつまでも使える上下水道」を目指し、お客さまと、協働・連携を図りながら、計画の実現に向け一丸となって取り組んでいます。

現在、香川県の水道事業体は、人口減少に伴う料金収入の減少や老朽施設の大量更新、耐震化の向上、技術の継承や渇水対策等水道事業を取り巻く共通の諸課題を解決し、将来にわたり安全で良質な水道水を安定的に供給できる強固な経営基盤を構築するため、県営水道事業と、県内8市8町の水道事業を統合する、県内一水道（岡山県玉野市から水の供給を受けている直島町を除く）の実現に向けた協議・調整を進めています。本年11月に広域水道企業団を設立し、平成30年度からの事業開始を目指しています。また、これに伴い、下水道事業は、これまでの組織統合の効果を維持しながら、新たな運営体制を構築することとなりますが、引き続き御支援・御協力をよろしくお願い申し上げます。



ふしやちゅうや
「不舎晝夜」の思いを胸に

福山市上下水道事業管理者
渡邊 清文

福山市の水道は、1925年（大正14年）に給水開始以来、90年以上に渡り安心・安全な水の供給に努めてまいりました。国の登録有形文化財に登録されている本市最初の近代水道施設である旧佐波浄水場には、初代福山市長による「不舎晝夜（ふしやちゅうや）」（昼も夜も絶え間なく水が流れ、断水が無いことを意味する。孟子の言葉より引用）という言葉が掲げられており、水道建設の苦労、喜び、福山の永遠の発展、市民が幸福に暮らすことへの思いが込められています。

本年4月1日付で上下水道事業管理者を拝命した私としても、これまで本市上下水道事業の発展に携わられてきた先人の方々の御尽力に対して心より敬意を表するとともに、市民のライフラインを守る仕事に従事できる喜びと職責の重さに身が引き締まる思いをして

おります。

今後の上下水道事業を取り巻く経営環境は厳しい状況が続くものと見込んでいます。そういった中で、本市上下水道局は、経営資源である「ヒト・モノ・カネ・情報」の全体を最適化するため、今後10年間の中長期的な経営の基本計画である「福山市上下水道事業中長期ビジョン（経営戦略）」を本年2月に策定しております。

また、市民生活や社会経済活動にとって重要なライフラインを担う事業を継続し、持続可能な経営基盤を確立するといった最大の市民サービスのため、運営コストの削減や効率的かつ効果的な事業運営の観点から、本年4月より浄水場施設等の運転管理及び維持管理等の業務委託を行っております。

私たちは「不舎晝夜」の思いを胸に、昼夜変わることなく流れる水の如く将来にわたって持続可能な事業経営を行い、市民に信頼される安心・安全でしなやかな上下水道事業の確立に向けて精力的に取り組んでまいります。